

新年、明けましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素より、皆様方におかれましては、宇和島市政の推進と発展に多大なるご支援、ご協力を賜っておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本中が注目したソチオリンピックやサッカーワールドカップ、消費税増税、記録的な日照不足となった気候などさまざまな出来事がありました。全国で多発した豪雨災害や土砂災害につきましては、本市においては幸いにして大きな被害は発生しませんでした。災害はいつなごき、どのような形で起こるか分かりません。今後さらなる危機管理体制の整備に努めて行く所存でありますので、市民の皆様も災害に対して十分に備えていただきますようお願いいたします。

さて、今年2015年から迎えること400年の1615年に、初代宇和島藩主伊達秀宗公が、「伊達五十七騎」と呼ばれる家臣団らと共に宇和島に入部しました。その後、約250年にわたり

# 歴史と出会い

伊達家によって治められた本市は、国の重要文化財である宇和島城をはじめ、歴史と文化の香りを色濃く現代に残しています。今年この400年の節目の年を記念した「宇和島伊達400年祭」を開催し、3月29日にはオーピングイベントとして、秀宗公入部を再現する「伊達五十七騎大武者行列」を行います。このオーピングイベントを皮切りに、11月のクロージングイベントまでさまざまなイベントを計画しておりますので、市民の皆様もぜひとも参加していただけたらと思います。

現在の宇和島は、決して最初から現在の形であったわけではなく、先人たちの積み上げによって作られてきたものです。この宇和島伊達400年祭によって、市外から多くの観光客の方々に宇和島を訪れていただき、地域の活性化につなげていくのはもちろんですが、ここに住む我々一人ひとりが、先人たちによって積み上げられた400年の歩みをしっかりと認識し、これからの宇和島の歴史を積み上げていけたらと思っています。

# 未来へ歩む



宇和島市長  
石橋 寛久

また、平成17年8月1日に宇和島市・吉田町・三間町・津島町の合併により誕生した当市は、今年で合併10周年を迎えます。合併の評価はいろいろあると思いますが、今後市民の皆様と共に歴史を積み上げて参りたいと考えておりますので、素晴らしいまち宇和島を作るために、さまざまなご意見を賜りますようお願いいたします。

新春にあたり、市民の皆様そして宇和島市にとりまして、本年が幸せで新たな善き末年となりますように、心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 城下町



平成27年は、未年です。羊は、「おとなしい」「柔順」「群れになる」などのイメージがあります。羊が実感できるのは、ウールのセーターや革製品の肌触りと暖かさです。羊は紀元前6000年ころ、家畜化されたといわれています。馬が家畜化されたのが紀元前3〜4000年ごろですから、羊と人間の付き合いはかなり長いこととなります。

それにも関わらず、日本には羊にまつわることわざがあまり多くありません。すぐに思いつくところでは、「羊の皮を被った狼」「羊頭狗肉」くらいのものです。曲がりくねった山道を「羊腸」と表現しますが、これはちよつと古臭い感じがしますね。

では、なぜ羊に関することわざが少ないのでしょうか。西暦599年、推古天皇の時代に、百済から2頭の羊が贈られたと日本書紀に記されています。しかし、羊は乾燥した風土が好きなので、日本の気候に合わなかったのだでしょう。あまり繁殖しなかったようです。その

# 豊かで思いやりのある宇和島市の実現のために

新年、あけましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、清々しく新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、旧年中は、市議会の活動に対し温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、アベノミクスと呼ばれる大胆な経済政策の推進により、上昇基調にあると思われた我が国の経済ですが、昨年4月の消費税増税の影響等もあり、個人消費が伸び悩み、実質GDPがマイナス成長となるなど、景気回復とまでは言いがたい、不安定な状況にあります。

当市においては、和菓子製造大手、株式会社源吉兆庵の工場誘致の成功や宇和島道路津島高田IC〜津島岩松IC間の今年度末の開通など、明るい話題もあるものの、市民生活がまだまだ厳しい状況にあることは間違いなく、疲弊した地域経済を活性化させ、基幹産業である農林水産業の振興や商工業の活性化を図っていくことは、当市における最大の課題であると認識しております。

「1年の計は元旦にあり」と申しますが、新年を、人心を一新す

る契機とし、新しい年の計画を立て、新しい希望の出発点としていかなければなりません。心を新たに、景気回復のためのさまざまな産業振興対策や福祉・医療対策、少子化対策、そして防災・減災対策など、山積する諸課題の解決に向け、取り組んでいかなければなりません。

私ども市議会といたしまして、宇和島市民の代表として、豊かで思いやりのある宇和島市の実現のために、より一層の創意工夫と努力を積み重ね、市民の皆様のご期待に答えられるよう、全力で取り組んでまいります。

どうか、本年も市議会に対し、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸せで実り多い年となりますことを、心より祈念いたします。新年のご挨拶といたします。

ひつじ  
2015年 今年 は 未年



ため、欧米のようにことわざが多くないのだろうといわれています。

明治の初期、政府は綿羊の飼育振興を試みましたが失敗しました。その後、軍服などの製造のために、羊の飼育が奨励されました。また、戦後は農家の副業として、多いときは100万頭も飼育されました。

現在では、羊毛は外国産が中心で、オーストラリアやニュージーランドなどから輸入しています。

さて、「1年の計は元旦にあり」といいます。今年この目標を決め、「迷える羊」にならないよう、スタートを切りたいものです。

謹んで

新年のお慶びを

申し上げます



平成27年元旦  
市議会議員一同

政治家が選挙区内の皆さんへあいさつ状を出すことは法律で禁止されていますので、議員個人からの年賀状は遠慮させていただきます。

宇和島市議会議員  
兵頭 司博